



第 28 週の Topic

手足口病の警報を発令します

手足口病は、第 28 週(7/6~7/12)に「感染症発生動向調査に基づく流行の警報および注意報システムによる情報提供要領」の警報発令基準を超えたため、県内全域に警報を発令します。

■ 手足口病とは¹⁾²⁾

手足口病は、**子どもを中心に**流行する**夏風邪**の一つとして知られている感染症です。

原因となるウイルスは、コクサッキーウイルス A6、A16、エンテロウイルス 71(EV71)などがあります。学童以上の年齢層の大半は既にこれらのウイルスの感染（不顕性感染を含む）を受けている場合が多いので、成人での発症はあまり多くないと言われています。

感染してから 3~5 日後に、以下の症状等が出現すると言われています。

- ・ **口の中、手のひら、足底や足背**などに 2~3mm の**水疱性発疹**が出現
- ・ 発熱は約 3 分の 1 にみられ、あまり高くないことが多い
- ・ まれに髄膜炎や脳炎などの合併症が生じることがある

多くが数日のうちに治ると言われていますが、合併症に注意し、経過を注意深く観察する必要があります。

■ 滋賀県の発生動向(右グラフ)

滋賀県では、2017 年、2019 年と **2 年ごとに流行**が見られていました。新型コロナウイルス感染症のパンデミック後(2020 年以降)は大きな流行は見られませんでした。2024 年には型の異なるウイルスを起因とする二峰性の流行が見られました。

2026 年は 6 月頃から徐々に増加が見られ第 28 週(7/6~7/12)に**警報基準を超え**ました。全国的にも同様に増加しています。

■ 治療・予防¹⁾²⁾

現在、有効なワクチンはなく、特別な治療方法也没有ありません。基本的には軽い症状なので、経過観察を含め、症状に応じた治療となります。

感染経路は、飛沫感染、接触感染、糞口感染（便の中に排泄されたウイルスが、手などを介して口から体内に入って感染すること）が知られています。治った後でも、比較的長い期間、便などからウイルスが排出されることがあります。また、不顕性感染（感染していても症状を発症していない状態）でもウイルスを排出している場合があります。

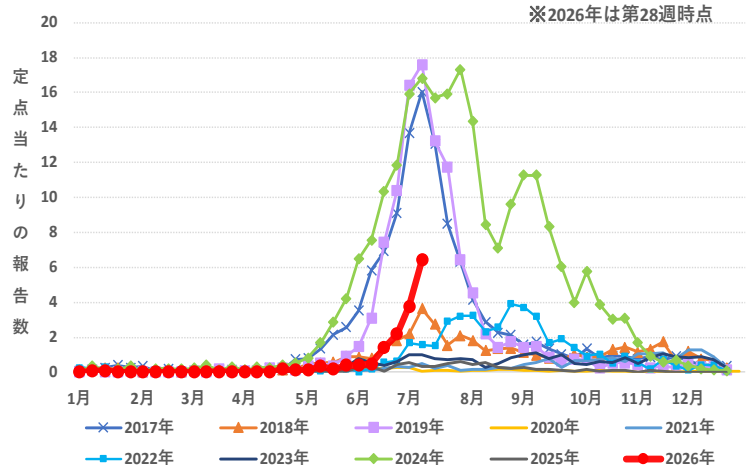
一般的な感染対策は、**流水と石けんで十分に手洗い**することと、**排泄物を適切に処理**することです。また、タオルの共有は避ける必要があります。アルコール消毒では手足口病の原因となるウイルスに対して十分な効果が得られないことがあります。

特に保育施設や幼稚園などでは、かかりやすい年齢層が集団生活をしており、感染が拡がりやすいため、職員と子ども達がしっかりと手洗いをすることが大切です。特におむつ交換前後にはしっかりと手洗いをし、排泄物を適切に処理することが重要です。

- 【参考文献】 1. 手足口病に関する Q&A(厚生労働省): <https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/hfmd.html>
2. 手足口病とは(国立感染症研究所): <https://id-info.jihs.go.jp/infectious-diseases/hand-foot-mouth-disease/index.html>

滋賀県 手足口病の定点当たり報告数の推移 (2017年~2026年)

※2026年は第28週時点





滋賀県感染症発生動向調査週報

Shiga Infection Diseases Weekly Report

令和 8 年 第 28 週 (7/6~7/12)

令和 8 年 7 月 16 日発行 滋賀県感染症情報センター

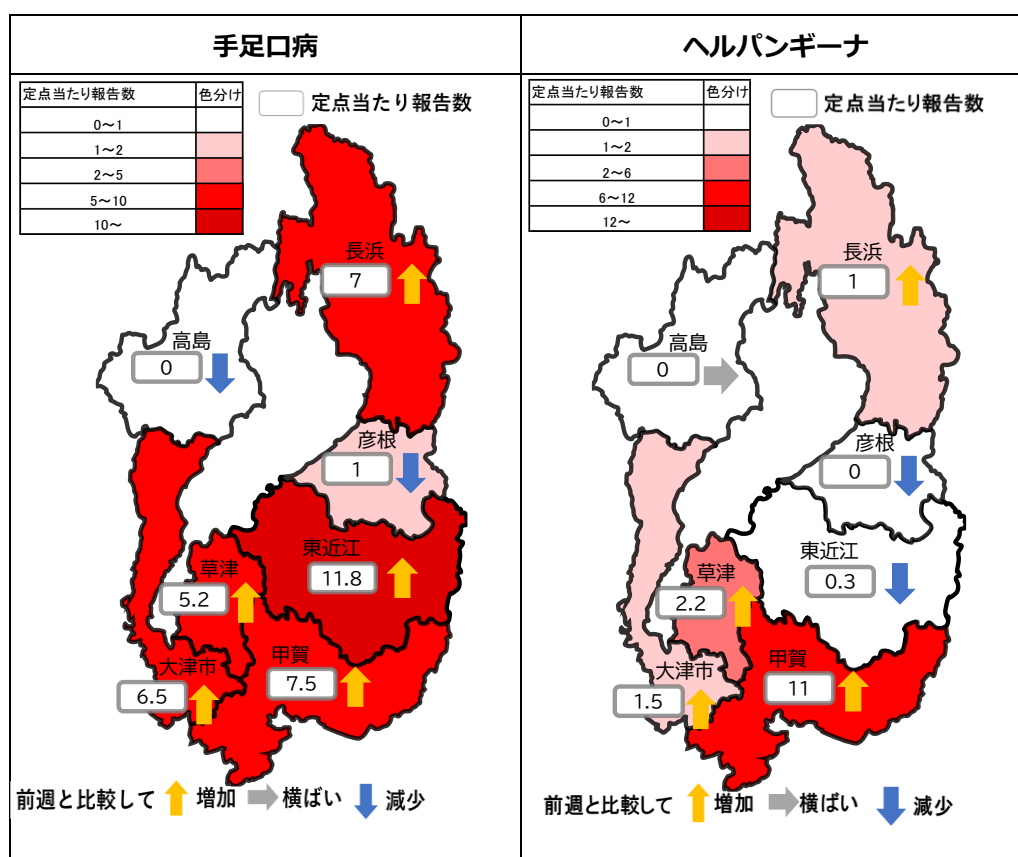
【TEL】 077-537-7438 【Mail】 eh4505@pref.shiga.lg.jp

1. 今週の主な動向

- 手足口病は、警報発令基準を超えたため、県内全域に警報を発令します。多くの保健所管内で増加しており、全国や近隣府県においても多く報告されています。詳細は今週の Topic をご覧ください。
- ヘルパンギーナについて、複数の保健所管内で定点当たりの報告数が増加しており、甲賀保健所管内では警報レベルを超えた報告が続いています。石鹸と流水による手洗いや、うがいなど、感染対策をお願いします。ヘルパンギーナについて詳細は下記 URL をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/herpangina.html

2. 保健所圏域別 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数の推移（マップ）

特に注意を要する感染症※について、保健所圏域別の定点当たり報告数および前週との比較をマップでお示します。



※ 「特に注意を要する感染症」とは、例年より非常に多い報告数である疾患や、季節性があり今後流行が予測される疾患、その他全国的な流行状況等から注意を要すると感染症情報センターで判断した疾患を指す

※ 定点当たり報告数の色分けは、疾患ごとに、過去 10 年の県内における発生状況や、注意報および警報等の基準値等を加味して 5 段階に区分

※ 図内の矢印は、前週の定点当たり報告数と比較して増減が 5%未満である場合を「横ばい」、5%以上の増加を「増加」、5%以上の減少を「減少」と定義

【資料編】

1. 全数把握疾患の累積患者報告数 保健所別（令和8年および令和7年に報告のあった疾患）^{i, ii}

疾患	滋賀県			保健所別累積報告数							全国 (前週)	昨年累積報告数	
	例年より 多い	例年より 非常に多い	累積 報告数	大津市	草津	甲賀	東近江	彦根	長浜	高島		滋賀県	全国
二類 結核			67(+2) 4.80	29(+1) 8.42	9(+1) 2.55	3 2.16	16 7.21	8 5.27	1 0.70	1 2.31	7,379 5.96	141 10.10	14,480 11.70
			18(+3) 1.29	4(+2) 1.16	6 1.70	1 0.72	2(+1) 0.90	4 2.64	1 0.70	0 0.00	1461 0.36	45 3.22	4,319 3.49
四類 E型肝炎			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	362 0.36	2 0.14	585 0.47
A型肝炎	○	○	2 0.14	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 1.32	0 0.00	0 0.00	145 0.36	0 0.00	133 0.11
			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.00	1 0.07	7 0.01
コクシジオイデス症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	41 0.03	4 0.29	164 0.13
デング熱			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	41 0.03	4 0.29	164 0.13
日本紅斑熱	○	○	1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	208 0.17	2 0.14	674 0.54
			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.07	18 0.01
ライム病			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.07	18 0.01
レジオネラ症			13(+3) 0.93	4(+1) 1.16	1 0.28	2(+2) 1.44	2 0.90	4 2.64	0 0.00	0 0.00	1065 0.86	35 2.51	2,413 1.95
			1 0.07	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.00	1 0.07	63 0.05
レプトスピラ症	○	○	1 0.07	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	4 0.00	1 0.07	63 0.05
五類 アメーバ赤痢			1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	257 0.21	4 0.29	449 0.36
ウイルス性肝炎	○		2 0.14	1 0.29	0 0.00	0 0.00	1 0.45	0 0.00	0 0.00	0 0.00	106 0.09	0 0.00	260 0.21
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	508 0.41	5 0.36	1,197 0.97
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	508 0.41	5 0.36	1,197 0.97
急性脳炎			1 0.07	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	256 0.21	5 0.36	630 0.51
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.00	1 0.07	23 0.02
クリプトスポリジウム症			0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	5 0.00	1 0.07	23 0.02
クロイツフェルト・ヤコブ病	○	○	2 0.14	0 0.00	2 0.57	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	77 0.06	3 0.21	184 0.15
					0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	○		13 0.93	1 0.29	5 1.41	0 0.00	4 1.80	3 1.98	0 0.00	0 0.00	709 0.57	30 2.15	1,382 1.12
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
後天性免疫不全症候群 (HIV感染症を含む)			1 0.07	0 0.00	0 0.00	1 0.72	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	494 0.40	8 0.57	866 0.70
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
侵襲性インフルエンザ菌感染症	○		5 0.36	1 0.29	3 0.85	0 0.00	0 0.00	1 0.66	0 0.00	0 0.00	305 0.25	11 0.79	650 0.53
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
侵襲性髄膜炎菌感染症	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	34 0.03	1 0.07	84 0.07
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
侵襲性肺炎球菌感染症	○		22 1.58	5 1.45	8 2.26	1 0.72	5 2.25	2 1.32	1 0.70	0 0.00	1653 1.34	48 3.44	3,391 2.74
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
水痘(入院例)	○	○	7 0.50	2 0.58	1 0.28	0 0.00	1 0.45	1 0.66	1 0.70	1 2.31	463 0.37	5 0.36	665 0.54
					0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
多剤耐性緑膿菌感染症	○	○	1 0.07	1 0.29	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	96 0.08	-	-
					0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
梅毒	○	○	52(+1) 3.72	6 1.74	27(+1) 7.64	2 1.44	7 3.15	1 0.66	9 6.28	0 0.00	5892 4.76	75 5.37	13530 10.93
					0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
播種性クリプトコックス症	○		2 0.14	0 0.00	0 0.00	1 0.72	0 0.00	0 0.00	1 0.70	0 0.00	92 0.07	4 0.29	178 0.14
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
破傷風	○	○	2 0.14	1 0.29	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	50 0.04	0 0.00	94 0.08
					0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	○		1 0.07	0 0.00	1 0.28	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	45 0.04	4 0.29	92 0.07
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
百日咳			88 6.30	26 7.55	30 8.49	14 10.10	7 3.15	3 1.98	0 0.00	8 18.50	3594 2.90	803 57.50	89387 72.20
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00
麻疹	○		2 0.14	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 1.32	0 0.00	0 0.00	547 0.44	5 0.36	265 0.21
				0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00

- i. 今年第1週以降に診断された感染症の累積報告数を全国、滋賀県および保健所別に示しています。上段に「今年累積報告数」、下段に「人口10万人当たりの累積報告数」を示しています。なお、上段の（）内の数値は、前週からの増加数を示しています。
- ii. 今年と過去5年の同時期の累積報告数の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、または「平均値+2×標準偏差（SD）」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」で標記

2. 定点把握疾患（五類感染症）の定点当たりの報告数（全国は前週）の値ⁱⁱⁱ

定点区分 (定点数)	疾病名	滋賀県						保健所別 (vi)							全国 (前週)	基準値		
		2週前	1週前	今週	警報 注意報 (iv)	例年より 多い (v)	例年より 非常に 多い(v)	大 津 市	草 津	甲 賀	東 近 江	彦 根	長 浜	高 島		警報 開始	警報 終息	注意報
急性呼吸器 感染症 (ARI) (定点数:39)	急性呼吸器感染症 (ARI)	39.08	40.97	45.13	-	-	-	31.80	48.45	48.00	42.17	30.00	121.67	13.50	50.88	-	-	-
	インフルエンザ	0.05	0.03	0.08				0.20	0.09	0	0	0	0	0	0.12	30	10	10
	新型コロナウイルス 感染症	0.28	0.36	1.03	-		-	1.00	1.09	0.67	2.33	0.25	0	0.50	1.47	-	-	-
小児科 (定点数:23)	RSウイルス感染症	0.52	0.43	0.13	-			0	0.17	0	0.25	0	0	1.00	0.37	-	-	-
	咽頭結膜熱	0.43	0.22	0.17				0.17	0.33	0	0.25	0	0	0	0.45	3	1	-
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	1.39	0.96	1.13				0.33	0.17	0.50	0.25	0.50	10.00	0	2.06	8	4	-
	感染性胃腸炎	2.87	2.04	2.52				1.17	2.50	1.00	3.75	4.50	5.00	0	4.45	20	12	-
	水痘	0.22	0.91	0.22				0.33	0.17	1.00	0	0	0	0	0.32	2	1	1
	手足口病	2.17	3.78	6.43	警	○		6.50	5.17	7.50	11.75	1.00	7.00	0	7.03	5	2	-
	伝染性紅斑 (リンゴ病)	0.09	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.06	2	1	-
	突発性発しん	0.22	0.17	0.17	-			0	0.50	0	0.25	0	0	0	0.33	-	-	-
	ヘルパンギーナ	1.13	1.30	2.04		○		1.50	2.17	11.00	0.25	0	1.00	0	1.77	6	2	-
	流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	0.04	0	0.04				0	0.17	0	0	0	0	0	0.05	6	2	3
眼科 (定点数: 9)	急性出血性結膜炎	0	0	0				0	0	0	0	0	0	0	0.02	1	0.1	-
	流行性角結膜炎	0.11	0.22	0				0	0	0	0	0	0	0	0.48	8	4	-
基幹 (定点数: 7)	細菌性髄膜炎	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	無菌性髄膜炎	0	0.14	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.05	-	-	-
	マイコプラズマ肺炎	0	0	0.14	-			0	0	1.00	0	0	0	0	0.26	-	-	-
	クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.01	-	-	-
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	0	0	0	-			0	0	0	0	0	0	0	0.04	-	-	-
	インフルエンザ入院	0	0	0.43	-	○	○	1.00	1.00	0	1.00	0	0	0	0.04	-	-	-
	COVID-19入院	0	0.43	0.29	-		-	0	1.00	0	1.00	0	0	0	0.29	-	-	-

- iii. 定点把握疾患:人口および医療機関の分布等を勘案して滋賀県が定めた患者定点(医療機関)で患者を診断した場合に、週単位で保健所へ報告される感染症を言い、報告された症例数を患者定点の数で除した「定点当たり報告数」により、発生状況を把握しています。
- iv. 定点当たり報告数が「警報基準値」に達した時に警報(「警」)を発令します。また、定点当たり報告数が「注意報基準値」に達した場合に注意報(「注」)を発令します。
警報・注意報のない疾患については、「-」と標記しています。
- v. 今週の値が過去5年の同時期(全数把握疾患は同時期の累積報告数)の「平均値」より多い場合に「例年より多い」、「平均値+2×標準偏差(SD)」より多い場合に「例年より非常に多い」と評価してそれぞれ「○」を標記(定点把握疾患の平均値は過去5年間の前週、当該週、後週の合計15週の平均を利用)。
新型コロナウイルス感染症は、過去5年のデータがないため、昨年の同週より多い場合に「例年より多い」に「○」を標記します。標準偏差を計算できないことから「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
急性呼吸器感染症(ARI)は、過去5年のデータがなく、昨年のデータもないため、「例年より多い」および「例年より非常に多い」は、「-」を標記します。
- vi. 赤字斜字: 警報開始基準値以上、紫字斜字: 注意報基準値以上

3-1. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週）

「-」: 報告なし

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (39医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
インフルエンザ	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
大津市保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
草津保健所	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
甲賀保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (39医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳～
新型コロナウイルス 感染症	40	2	-	3	-	-	1	-	2	5	1	1	9	7	2	4	2	1	-	-	-
大津市保健所	10	1	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	2	-	-	2	1	-	-	-
草津保健所	12	1	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	1	3	1	3	-	-	-	-	-
甲賀保健所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東近江保健所	14	-	-	1	-	-	1	-	1	3	1	1	4	2	-	-	-	-	-	-	-
彦根保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長浜保健所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高島保健所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-

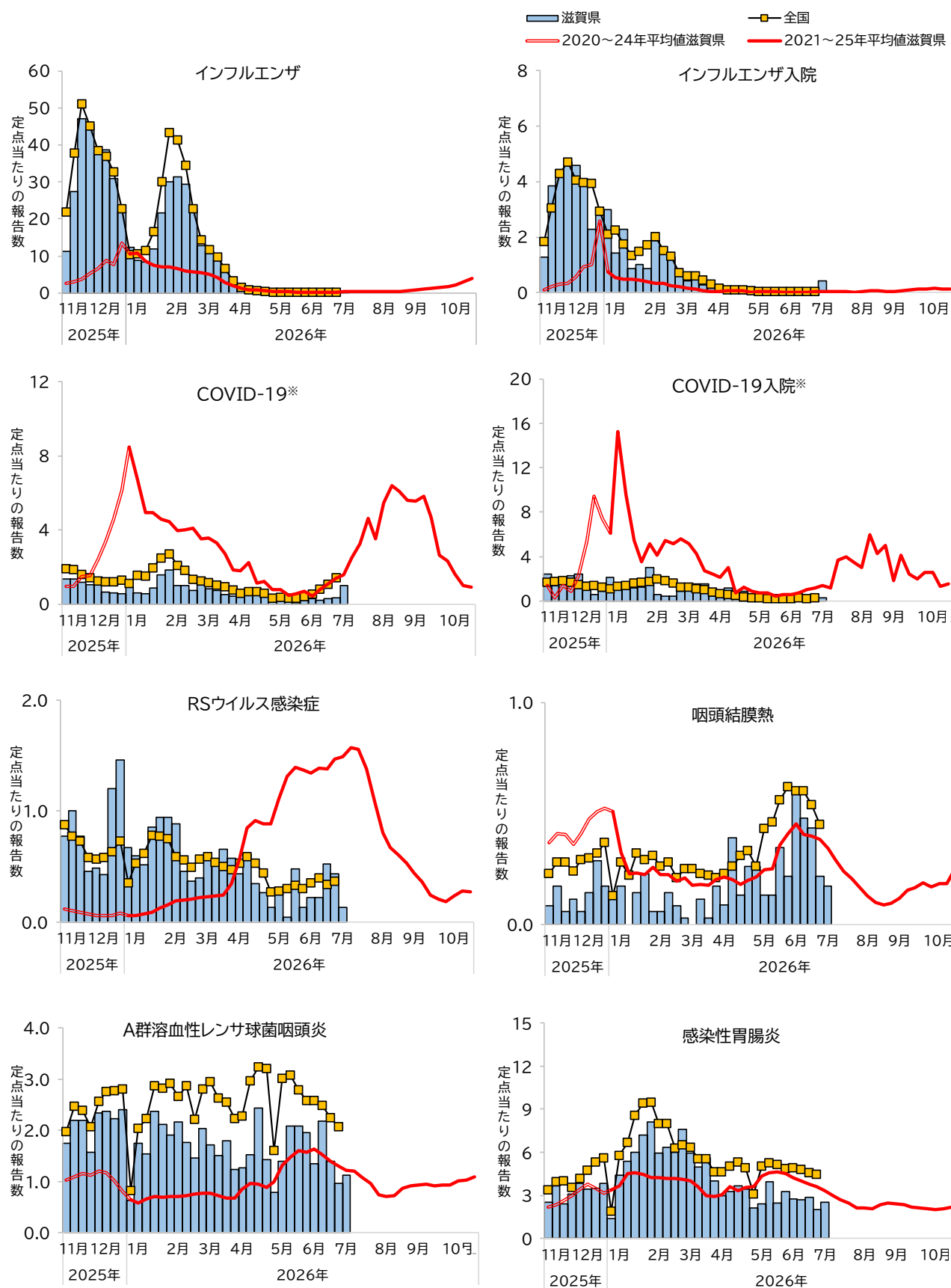
急性呼吸器感染症 (ARI) 定点 (39医療機関)	総数	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～
急性呼吸器感染症 (ARI)	1760	143	737	275	110	34	53	57	51	63	55	88	94
大津市保健所	318	34	121	39	19	10	10	14	14	18	10	14	15
草津保健所	533	53	217	80	35	12	25	31	22	19	13	15	11
甲賀保健所	144	8	61	26	13	3	4	0	3	2	10	6	8
東近江保健所	253	19	101	44	16	4	6	6	5	13	2	16	21
彦根保健所	120	1	53	24	7	2	2	1	3	3	8	8	8
長浜保健所	365	27	175	62	20	3	6	4	3	4	9	26	26
高島保健所	27	1	9	0	0	0	0	1	1	4	3	3	5

3-2. 定点把握疾患（五類感染症）の年齢階級別報告数（滋賀県、今週） 「-」：報告なし

小児科定点 (23医療機関)	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	3	1	1	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－
咽頭結膜熱	4	1	－	1	1	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	26	－	－	1	1	3	4	9	5	1	－	－	2	－	－
感染性胃腸炎	58	－	10	7	4	6	4	5	4	4	4	3	7	－	－
水痘	5	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	1	4	－	－
手足口病	148	1	20	73	31	11	4	4	2	－	－	1	－	－	1
伝染性紅斑 (りんご病)	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
突発性発しん	4	－	1	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
ヘルパンギーナ	47	1	8	15	10	7	1	2	2	－	1	－	－	－	－
流行性耳下腺炎 (おたふくかぜ)	1	－	－	－	－	－	－	－	1	－	－	－	－	－	－

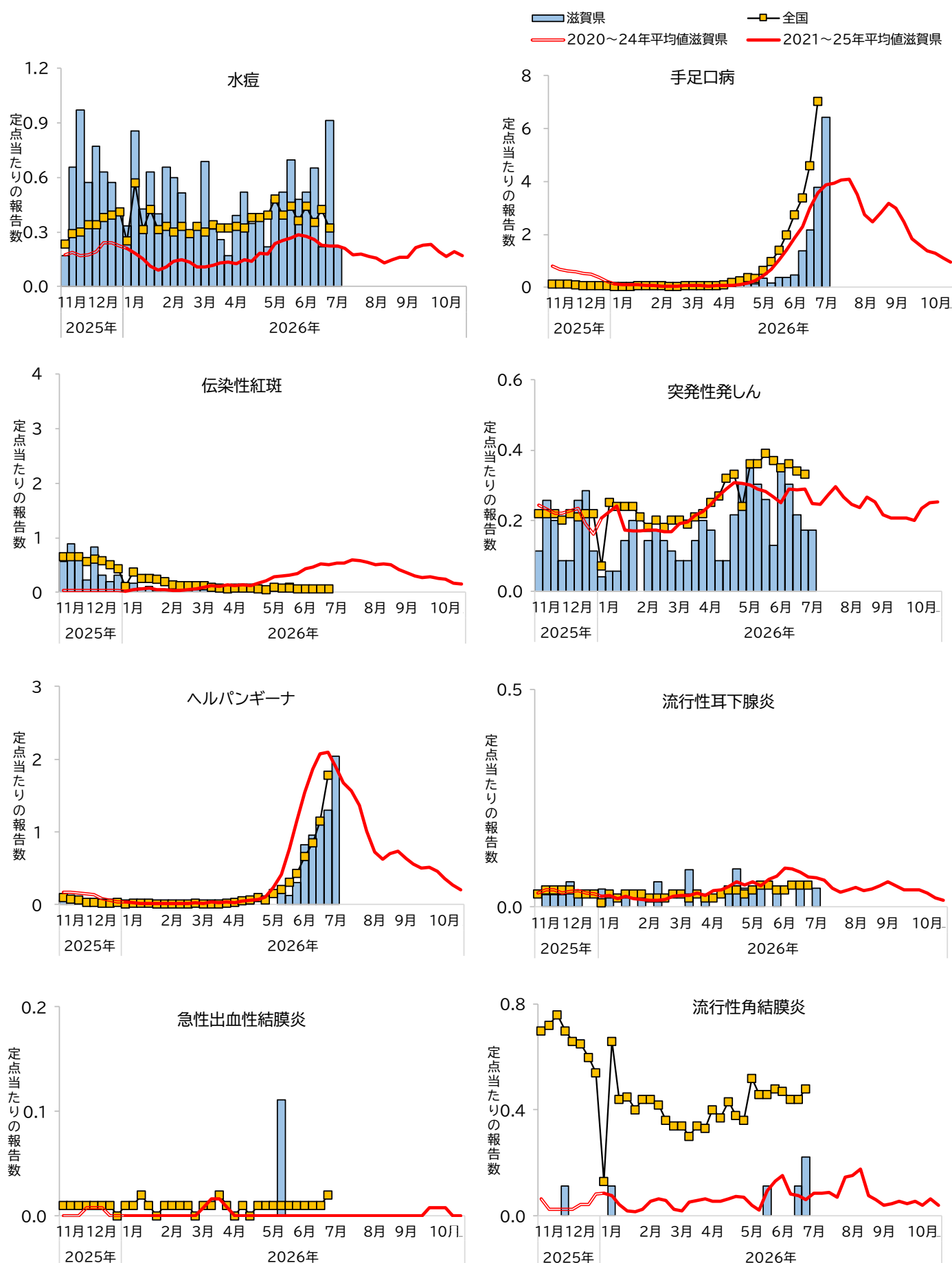
[illegible][illegible]

4-1. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）

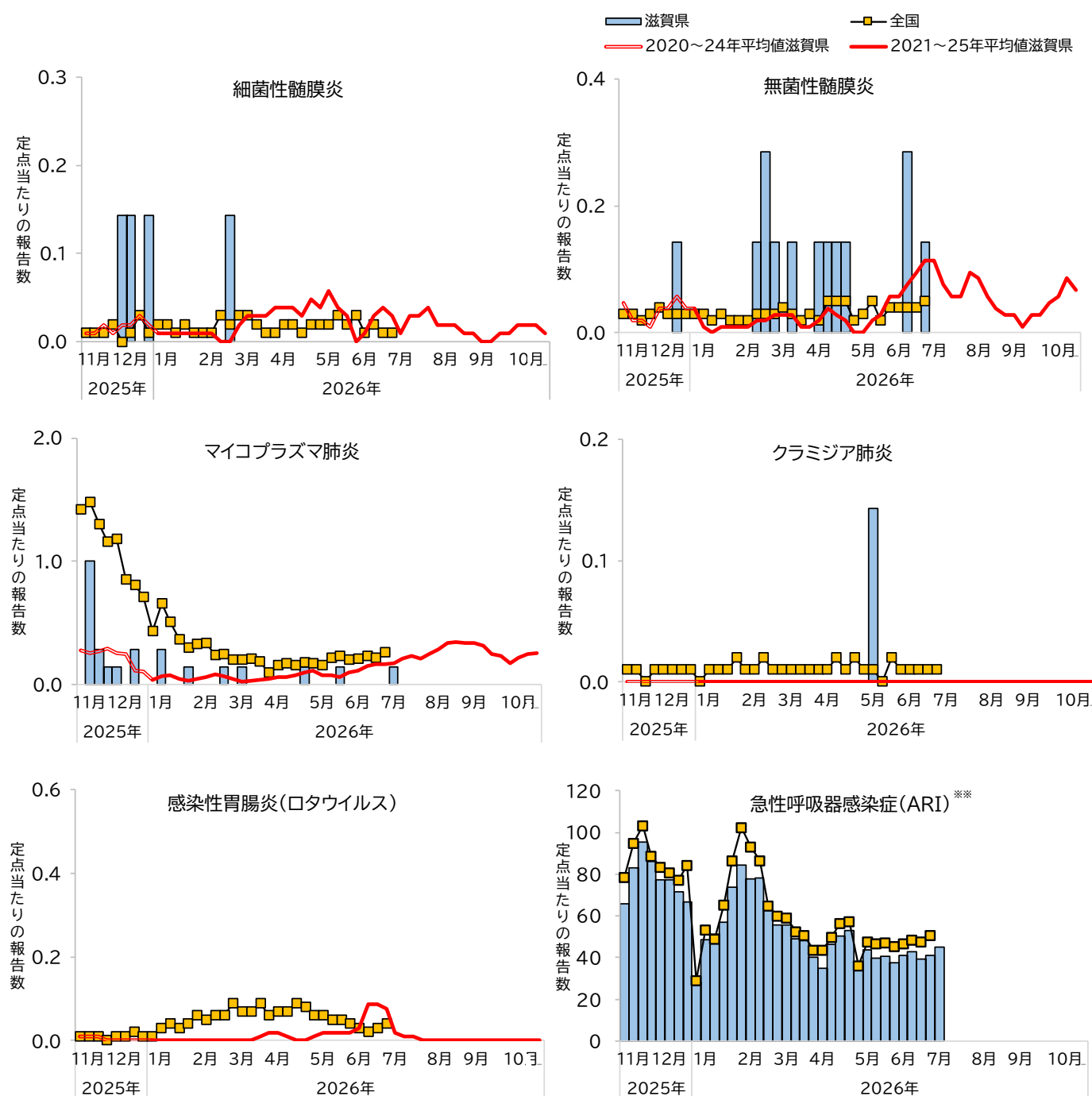


※COVID-19 は、過去5年分のデータがないため、『2020 年～24 年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2024 年』の値、『2021 年～25 年平均値滋賀県』の折れ線グラフは『2025 年』の値を掲載しています。

4-2. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



4-3. 定点把握疾患（五類感染症）の発生動向（全国は先週まで記載）



※※急性呼吸器感染症(ARI)は2025年第15週から報告が始まったため、過去5年のデータ(折れ線グラフ)はありません。

5. 病原体検出情報

(1) 病原体定点検出情報（検出された病原体からピックアップしてお知らせしています。詳細は[月報](#)・[病原体情報](#)に掲載しています。）

- ・第26週、第27週採取の複数検体からRSウイルス(A)が検出されています。（RSウイルス感染症、上気道炎）
- ・第26週～第28週採取の複数検体からヒトメタニューモウイルスが検出されています。（上気道炎、下気道炎）
- ・第26週～第28週採取の検体からSARS-CoV-2が検出されています。（上気道炎、下気道炎）

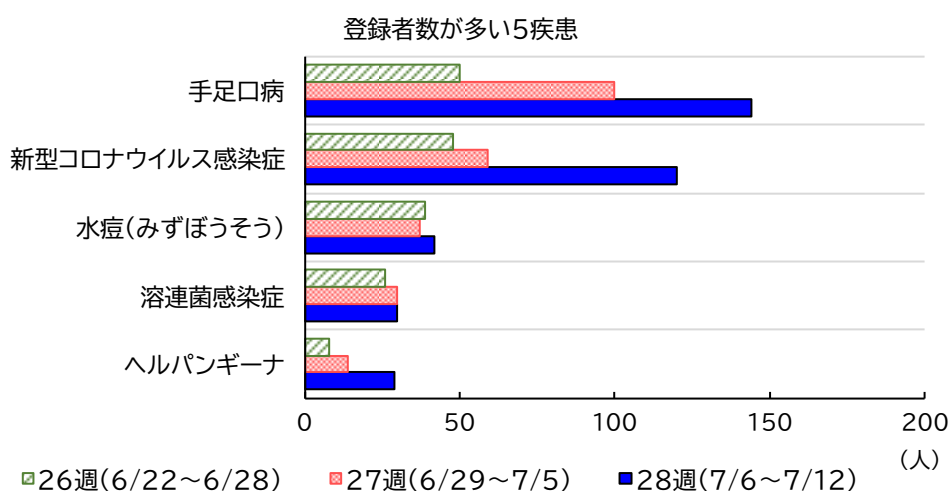
(2) 定点以外の病原体検出情報（衛生科学センター等で検査した病原体に関する情報）

- ・特記すべき病原体検出情報ははありません。

6. 今週の学校等欠席者・感染症情報システム（保育園サーベイランス含む）概況（滋賀県）

滋賀県では、園および学校等により、感染症による欠席者等の情報を学校等欠席者・感染症情報システム（https://scl11.953862.net/schoolkoukai/view_all.php）へ毎日入力いただいています。

入力いただいたデータを集計して掲載しています。



7. 参考情報

【**tableau public**】 県内の全数把握疾患および定点把握疾患の報告状況について、詳細を公表しています。
<https://public.tableau.com/app/profile/.49137914/vizzes>



【全国情報】

『感染症発生動向調査 週報(IDWR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>

『病原体検出情報(IASR)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/iasr/index.html>

『インフルエンザ様疾患発生報告(学校欠席者数)』

<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/jp/infu/school/flulike.html>

【届出対象疾患・届出基準】

『感染症法に基づく医師の届出のお願い』

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekaku-kansenshou/kekaku-kansenshou11/01.html

- 滋賀県感染症発生動向調査週報は、感染症法に基づいて県内の医師、定点医療機関および県内各保健所より報告されたデータを用いて、滋賀県衛生科学センター健康科学情報係において作成しています。

- 本情報は滋賀県感染症情報センターホームページに掲載しております。

滋賀県感染症情報センターHP：<https://www.pref.shiga.lg.jp/eiseikagaku/kansensyou/>

